

第1回 全国高校生『泥流地帯』朗読甲子園 開催要項

2025/8/13ver.

※本要綱は開催までに幾度かの改訂が想定されますので、公式サイトにて最新版をご確認ください。

<8/13バージョンでの変更箇所>

(1)当日の開始時間が30分繰り下げとなります(終了時間は変わりません) (2)審査員が決定しました

- 1 主催 『泥流地帯』映画化を進める会（事務局：上富良野町企画商工観光課）
- 2 共催 三浦綾子記念文学館(旭川市)／上富良野町
- 3 運営 第1回全国高校生朗読甲子園実行委員会
- 4 後援 上富良野町教育委員会
- 5 開催趣旨 全国の高校生を対象に三浦綾子著『泥流地帯』『続泥流地帯』の朗読コンクールを実施します。作品の舞台である上富良野町において朗読に取り組むことで、参加者が物語や地域を深く理解するとともに作品の魅力の発信者となり、上富良野町の郷土史とも言える本作品が若い世代により多く触れられ、読み継がれていくことを期待するものです。
- 6 開催期日 令和7年8月23日(土)～ 8月24日(日)

<前日> ※大会日程外 堀井美香朗読会(三浦綾子記念文学館主催／旭川公会堂)
<第1日> 8月23日(土)
9:00～10:00 受付
10:00～10:30 開会式
10:30～12:00 予選
12:00～13:00 休憩、審査
13:00～13:50 審査、朗読デモンストレーション
13:50～14:30 決勝進出者発表、調整
14:30～15:00 本選(決勝)
15:00～15:30 決勝審査／休憩／表彰準備
15:30～16:10 審査結果発表、表彰、講評
16:10～16:30 閉会式
17:30～19:00 懇親会
<第2日> 8月24日(日)
8:00～8:30 集合、受付、オリエンテーション
8:30～11:00 ポストツアー 泥流地帯ゆかりの地を巡るバスツアー
11:00～11:30 作品ゆかりのグルメ試食
11:30～ 解散

- 7 会場 上富良野町保健福祉総合センター かみん
北海道空知郡上富良野町大町2丁目8番4号
- 8 参加資格 高等学校(全日制、定時制、通信制)、高等専門学校またはそれらに準ずる各種
が甲に在学中(いずれも三年次まで)の生徒であること。
※放送部等在籍の如何は問いません。
- 9 参加費用 無料(本大会、懇親会、ポストツアー共通)
※会場までの往復航空賃、宿泊費、懇親会及び大会日昼食以外の食事については各自ご負担いただきます。
- 10 参加定員 50名(学校ごとの申し込み人数は問いません)
- 11 参加申し込み
- (1)参加申込書の提出
学校ごとに参加者をとりまとめ、必ず顧問教諭または学校長の同意の元、申込受付webフォームより7月31日(木)までに申し込みを行うこと
※申し込みの状況に応じて、上記申込期限より早く募集を停止する場合がありますのでお早めにお申し込みください。
- (2)朗読場面の報告
朗読する章及び節並びに朗読箇所を8月8日(金)までに事務局へ報告すること。(Eメールにより、該当箇所のテキストまたは該当箇所がわかるよう示された画像データなどを添付して送信してください)
【件名】朗読甲子園朗読原稿(学校名)
- 12 審査員 予選4名、決勝審査のみゲスト審査員を加え5名での審査とします。
HBC 旭川放送局長 元アナウンサー 山内 要一様
三浦綾子記念文学館 事務局長 難波真実様
旭川龍谷高等学校 金箱牧夫先生
旭川東高等学校 工藤大輔先生
(決勝のみ) フリーアナウンサー 堀井美香様
- 13 表彰 ※予選通過者より選考
▽最優秀賞 1名(賞状、副賞: 図書カード1万円分+上富良野町特産品)
▽優秀賞 2名以内(賞状、副賞: 図書カード5千円分+上富良野町特産品)

▽入賞 若干名（賞状、副賞：図書カード2千円分＋上富良野町特産品）

※受賞者については後日報道機関、町広報、町公式ホームページ等にて学校名・学年・氏名及び写真を掲載する場合があります。

14 宿泊、食事の申し込み

宿泊は各自手配のこと。※事務局にて周辺宿泊施設の情報提供が可能です。

大会当日の昼食は出場者分のお弁当をご用意します(無料)。引率、ご家族の皆様についてはご希望に応じ別途斡旋いたします。

15 事務局

『泥流地帯』映画化を進める会

事務局 上富良野町企画商工観光課商工観光班（担当：浦島）

電話 0167-45-6983

（問い合わせ、提出先）

E-mail deiryu@movie-kamifurano.com

<公式 web ページ>

- ・参加申し込み
- ・最新の実施要項
- ・実施の詳細 などはこのページで
ご確認ください



第1回 全国高校生『泥流地帯』朗読甲子園

<実施要領>

2025/8/13ver.

※本要綱は開催までに幾度かの改訂が想定されますので、公式サイトにて最新版をご確認ください。

<8/13バージョンでの変更箇所>

(1)審査員人数が確定しました (2)決勝朗読原稿については事前に(2~3日前を目途に)該当箇所をお知らせすることとします

1 朗読実施規定

(1)課題図書

三浦綾子著『泥流地帯』または『続泥流地帯』

※いずれも新潮文庫刊（電子版は小学館より刊行）

(2)課題図書の本文中から自分の表現したい部分を抽出し朗読してください。

ただし抽出は文頭から開始、文末で終了することとし、一切の改変をしないこと。省略や追加などのほか、一文途中の開始や終了も改変とみなします。

文中の()「 」内も読むこと(「カッコ」などの発音、読み仮名、注釈の読み上げは不要)。

(3)朗読の始めに①番号②学校名③氏名④作品名(『泥流地帯』『続泥流地帯』の別)⑤朗読する箇所の章名及び節番(節のない章は節番不要)を読み上げてください。

(<例>「1番、〇〇高等学校、上富太郎、続泥流地帯 村葬 第2節」など)

(4)予選の朗読時間は(3)を含め2分30秒以上3分以内とします。ただし決勝の朗読時間は時間制限を設けません。

2 予選

(1)出場者は、先に届け出た抽出部分の原稿を朗読します。

(2)審査は4名で行います。

(3)予選の上位者(予選参加者数に応じ概ね20~30%を目途に別途決定)を決勝進出者とします。

3 予選審査基準

(1) 審査の視点

(ア) 抽出部分は適切か

※作品中にある差別的な表現などについては、文芸上の表現であり、そこを抽出したことで減点等の措置はしません。

(イ) 抽出箇所の前後を含め物語をよく理解し、自身の解釈を加え表現できているか。

(ウ) 内容表現上、声の出し方や言葉の運びが自然で適切か。

・発声・発音・マイクの使い方

(エ) 正しく意味を伝える表現ができているか。

・内容把握・イントネーション・言葉の立て方(プロミネンス)・アクセント

(オ) 間(ポーズ)は適切か

・テンポ・ポーズ

(2) 点数は100点法の1点刻みとし、(1)の区分ごとに採点します。

(3) 4名の審査員が採点した審査点に基づき順位を決定します。予選通過ラインの順位に同点の者が複数ある場合は、審査員の合議により予選通過者を決定するものとします(ただし、若干名に限り既定の予選通過人数を越えて決勝進出者とする事ができるものとします)。

4 決勝

(1) 出場者は、大会事務局が用意した課題原稿を朗読します。課題原稿は、1(1)の課題図書のうち、予選でいずれかの参加者が朗読した部分を除き、決定します。

課題原稿は、8月21日(木)午前9時をめぐりに公式ページにて該当箇所を公開します。大会当日においても受付でプログラムとともに配布します。

(2) 審査は予選の審査員にゲスト審査員1名を加えた5名で行います。

5 決勝審査・表彰

(1) 審査基準

審査基準は、予選審査基準に準じます(ただし予選審査基準(ア)を除く)。

(2) 順位1位から順に最優秀賞1名、優秀賞2名以内を選出し、それ以外の者を入賞とします。

6 朗読部門規定違反

(1) ±10秒を超える時間規程違反については、各審査員の点数から5点ずつ減点し、さらに大幅に超過した場合は失格とする場合があります。

(2) 提出原稿の不備等については、大会中に大会本部で確認し、出場者に直接確認、修正等を求める場合があります(修正等による採点への影響はありません)。

(3) その他の規定違反等への対処については、大会本部で審議し決定します。